

アルコール依存症への正しい理解 3

長期多量の飲酒によって生じる慢性の脳の変化

- シラフ時に生じる離脱症状（不安、焦燥感など）
がもたらす苦痛
- この苦痛を回避しようとして、飲酒する

アルコール依存症への正しい理解 4

全体像

アルコールによる急性・慢性の影響が統合され、社会的、職業的、家庭的、健康的な問題による苦痛が生じる

- **社会的**：信用、信頼、役割の減少や喪失、生活苦など
- **職業的**：健康障害による労働日の喪失、労働能力の減少、雇用の喪失など
- **家庭的**：家族としての役割の機能不全、DV、家族の崩壊、子どもへの心的外傷など
- **健康的**：脳、肝臓、膵臓などの「身体的健康障害」
アルコール依存症、うつ病などの「精神的健康障害」

アルコール依存症

総括

- 長期多量のアルコールによって脳が変化した「疾患」
- 酩酊による脳機能の低下によって、患者が「現実」を誤解・否認する「疾患」
- 社会の意識の中の偏見・誤解が患者の気づきを遅らせ、早期治療を妨げている「疾患」

家族の「地獄」の苦しみ

- 酩酊による暴言・暴力が家族に心身の苦痛を与える
- 酩酊によって生じる現実否認は、家族との現実認識の差をつくり、家族は苦しむ
- シラフ時の離脱症状による不安や焦燥感は、家族への暴言・暴力となり、家族の心的トラウマにつながる
- 家族は、酩酊時にもシラフ時にも苦しむことになる

家族への支援

- **早期治療・相談体制の強化は、
家族の苦しむ期間を短縮する**

アルコール依存症の早期発見・早期回復 への対策は 「一般医療機関」と「健診」が焦点

現在、アルコール依存症（ICD-10）に該当している者

82.9%が**医療機関**を受診している

69.6%が**健康診断**を受診している

尾崎米厚：わが国の成人の飲酒行動に関する全国調査2013年
2003年、2008年全国調査との比較. 厚生労働科学研究（樋口進班）, 2014.

一般病院・外来患者の「アルコール依存症の疑い」

CAGE2項目以上の頻度

| 診療科 | 内科 | 外科 | 精神科 | 眼科 | 産婦人科 | 泌尿器科 | 皮膚科 | 耳鼻咽喉科 | 麻酔科 | 他の部門 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|
| 男性 | 21.3 | 24.9 | 21.3 | 21.3 | | 16.3 | 29.2 | 24.6 | 19.0 | 22.6 |
| 女性 | 8.7 | 8.9 | 10.2 | 2.4 | 14.1 | 0.0 | 5.8 | 3.2 | 8.7 | 9.6 |

| | 総計 | 一般成人 |
|----|-------|------|
| 男性 | 21.6% | 5.5% |
| 女性 | 10.1% | 1.2% |

厚労省研究班 2013

Akazawa M etc: Prevalence of problematic drinking among outpatients attending general hospitals in Tokyo.

日本アルコール薬物医学会雑誌, 48 (5), 300-313, 2013.

一般医療と健診が効果をあげるために

- 医師を含めた社会の人々のアルコールへの意識を改善する
- 啓発週間を活用する
- 診療報酬をSBIRT (Screening, Brief Intervention, Referral to Treatment)に付与する
- 健診システムにSBIRTを含める
- 連携ネットワークを地域に構築する